

漁獲シナリオ等の検討及び 今後のスケジュールについて

令和7年10月29日(水)、30日(木)

資源管理方針に関する検討会
～第4回ズワイガニ北海道西部系群～

水産庁

1. 資源管理目標の案

(ズワイガニ北海道西部系群)

- 研究機関は、当該水産資源の漁獲はベニズワイガニの漁獲に付随するものであり、そのため資源量指標値(注)が資源全体の動向を反映した指標値として取り扱うには十分な精度を有していないことから、目標管理基準値及び限界管理基準値の提案が困難であるとしている。

(注)かにかご漁業の標準化CPUE

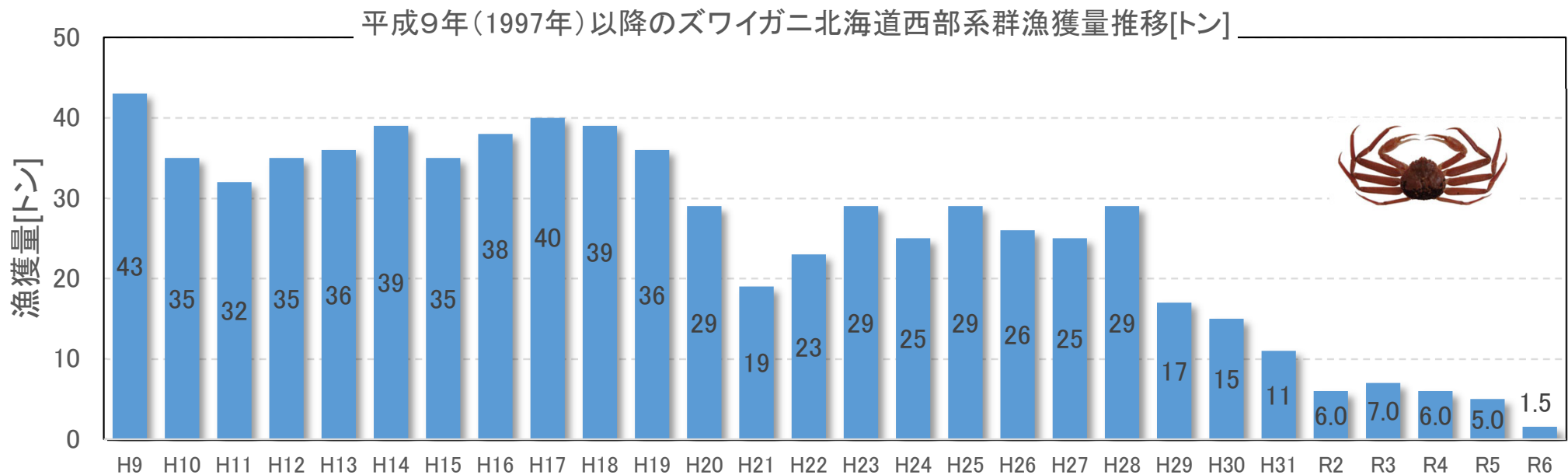
- このため、研究機関から提案された資源量指標値の値を、漁業法第12条第2項の規定に基づく「維持又は回復させるべき目標」とする。

項目	案	現行
資源管理の目標	0.4 (昭和63年(1988年)漁期から 令和6年(2024年)漁期の最低値)	1.0付近 (昭和63年(1988年)漁期から 令和元年(2019年)漁期の平均値)

2. 漁獲シナリオの案

(ズワイガニ北海道西部系群)

- 代替となる資源量指標値が開発中であること、代替指標では資源状況の急激な変化が見られないことを踏まえ、代替までの間は、現行の漁獲シナリオ(1997年以降の資源水準を維持するよう漁獲を管理する。ただし、第3の資源管理の目標の達成状況を踏まえ、必要に応じてこれを見直すこととする。)を継続する。
- TACは、漁獲シナリオの継続を踏まえ、平成9年(1997年)以降の最大漁獲量を考慮して算定する。



3. 今後のスケジュール

(ズワイガニ北海道西部系群)

R7年 8月5・6日	第4回SH会合 ・ 現行の資源管理方針及び資源の状況等について説明 ・ 今後SH会合で検討すべき事項について説明・議論
R7年9月30日	資源評価結果公表
R7年 10月29・30日	第5回SH会合 ・ 令和7年度資源評価結果について説明(資源管理の目標(案)及び漁獲シナリオ(案)の提示を含む。) ・ 資源管理目標、漁獲シナリオ等の議論 
R7年11月以降	第6回SH会合 ・ 資源管理目標、漁獲シナリオ等の議論の続き ・ 議論の取りまとめ
R8年1月	パブリックコメント開始 (SH会合の取りまとめを反映した、資源管理方針の変更(案))
R8年2月	水産政策審議会資源管理分科会 ・ 資源管理方針の変更(案)に対する意見聴取 ・ 令和8(2026)管理年度のTAC及びその配分(案)に対する意見聴取
R8年3月	資源管理方針の変更及び令和8管理年度のTACの決定
R8年4月	変更後の資源管理方針等に基づくTAC管理開始

本日の検討会はこちら